

## 診療科選択

生年毎の選択状況の変化

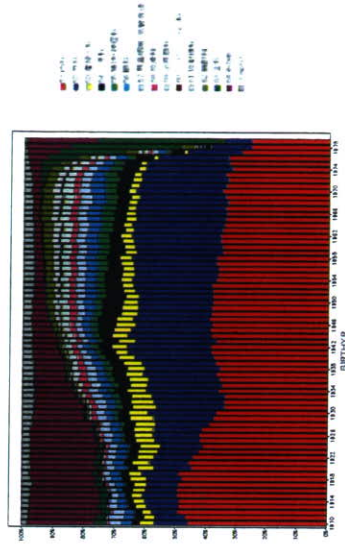
## 方法

- 1977年～2004年調査のデータのうち24歳から70歳までのデータについて生年毎に診療科を集計し、診療科の比率を算出した。
- 性別1は男性 2は女性である。

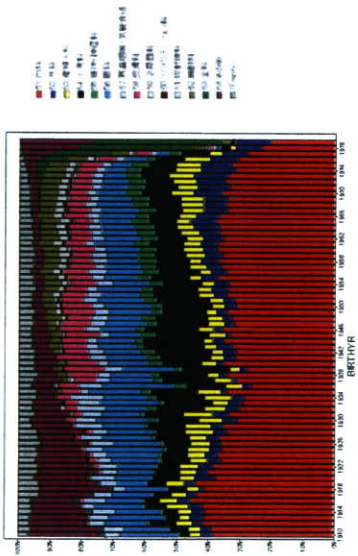
## 概要

- 診療科が確定するのは卒業4年目頃と推定される。
- 内科・外科・産婦人科・小児科の総計で見した場合、
  - 男性の方がこの4科を選択する率が高い
  - 内科は、男性女性で率の差が少ない
  - 男性は、外科を選択する率が高い
  - 女性は、産婦人科・小児科を選択する率が高い
- このほかの診療科(例:皮膚科)においても男女で診療科選択傾向の差がみられる。

診療科率 男性・全業務種別



### 診療科率 女性・全業種別



5

# 男性医師 診療科遷移

1979年から1930年生まれ

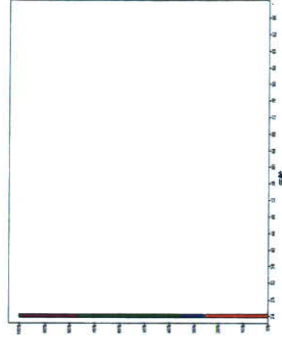
診療科変化

調査:1977-2004

## 概要 1

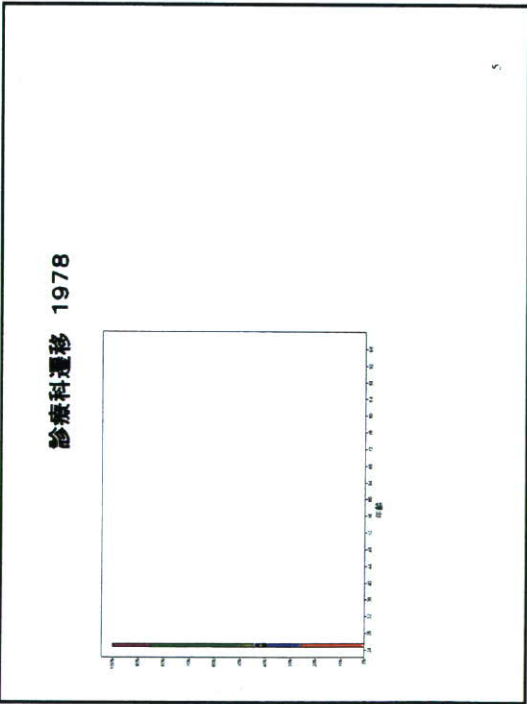
- 同一生年コホートで見たととき、診療科の構成比率は、年齢の進行に関わらず変化があるとはいえない。
- 不連続性は、1993年の統計コードの変更の影響と考えられる。
- 臨床研修で選択した診療科は、年齢が進んでも70歳までの範囲では、診療科を変更する率は小さい。
- 女性医師と比し、内科・外科・産婦人科を選択する率が高い。

## 診療科遷移 1979

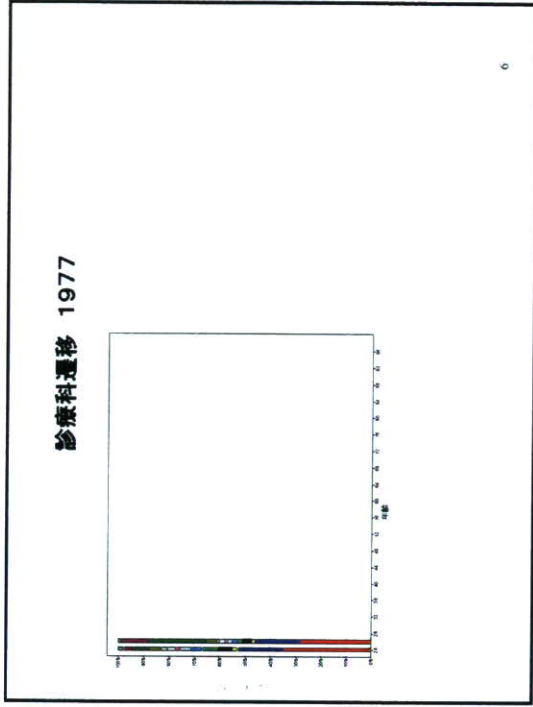


## 凡例

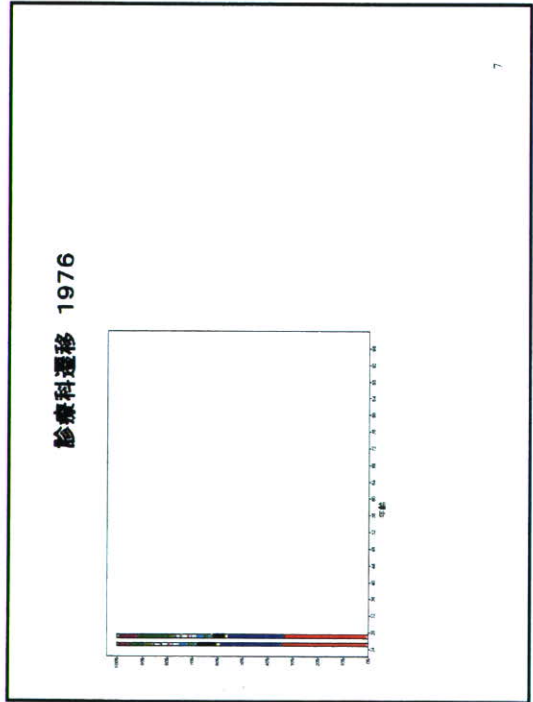
- 01 内科
- 02 外科
- 03 産婦人科
- 04 小児科
- 05 皮膚科・泌尿科
- 06 泌尿科
- 07 耳鼻咽喉科・気管支道
- 08 皮膚科
- 09 泌尿科
- 10 泌尿科
- 11 放射線科
- 12 眼科
- 13 歯科
- 14 その他



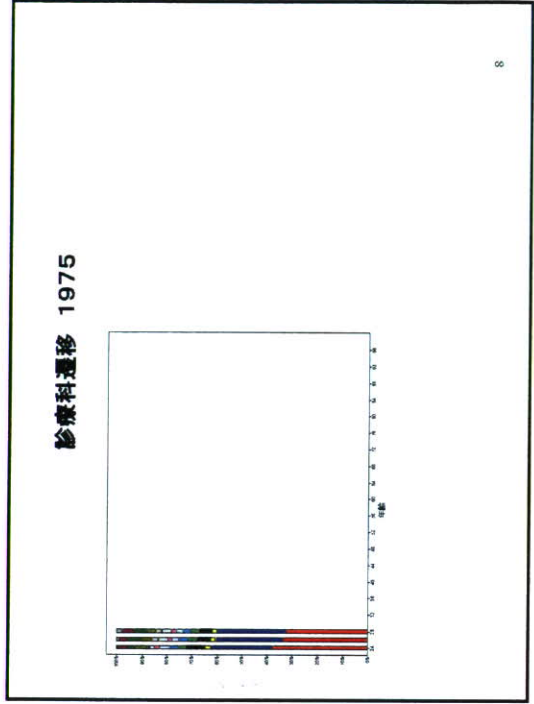
5



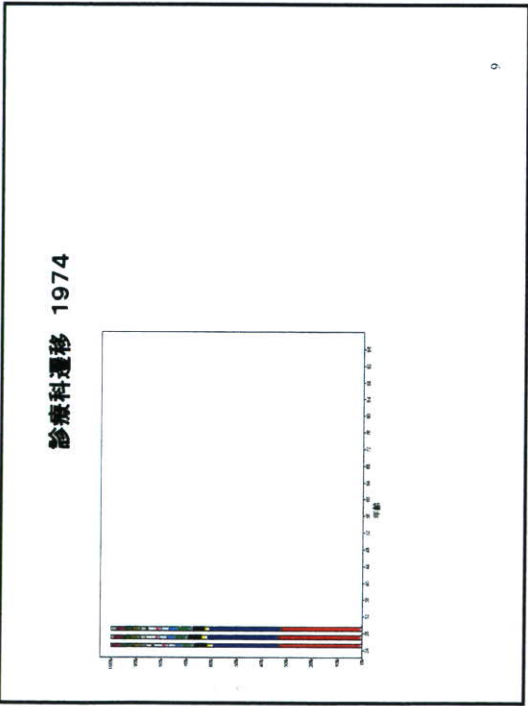
6



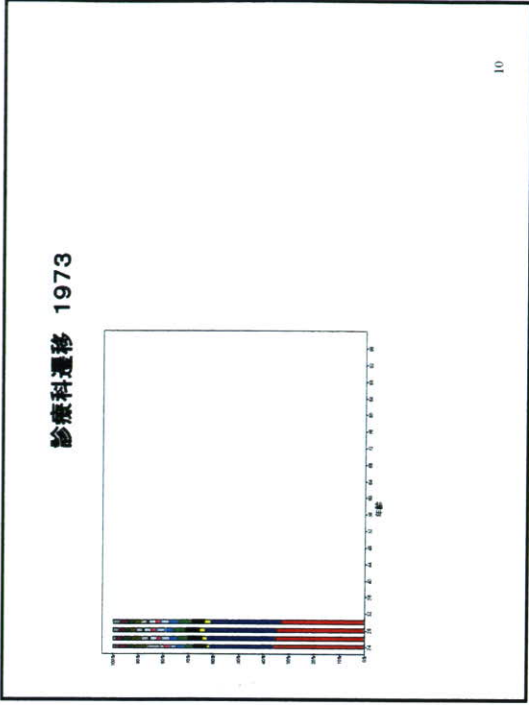
7



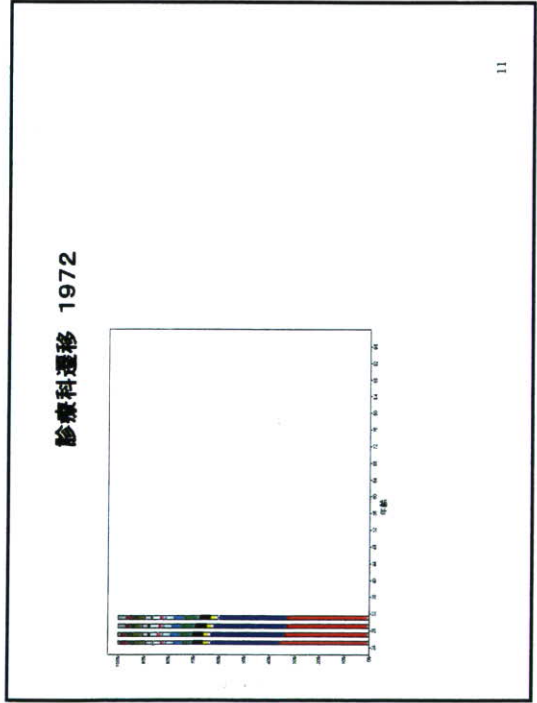
8



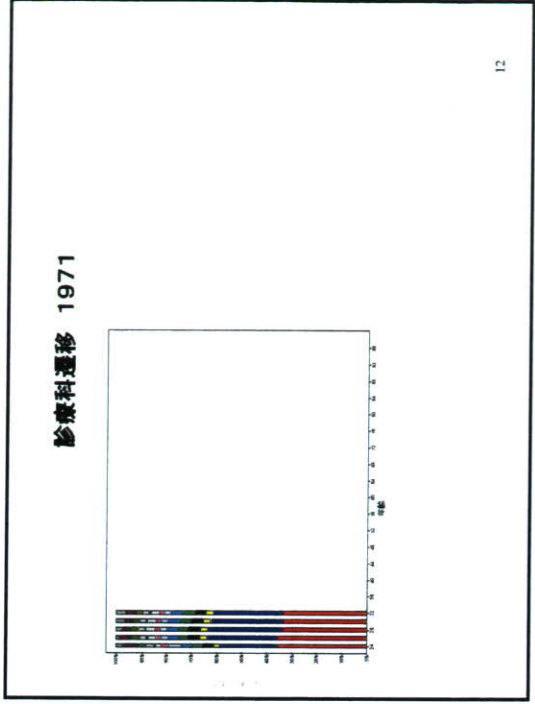
9



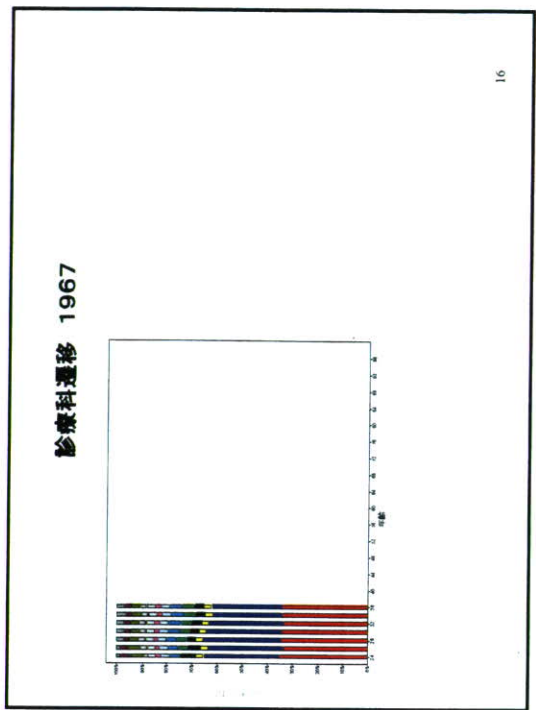
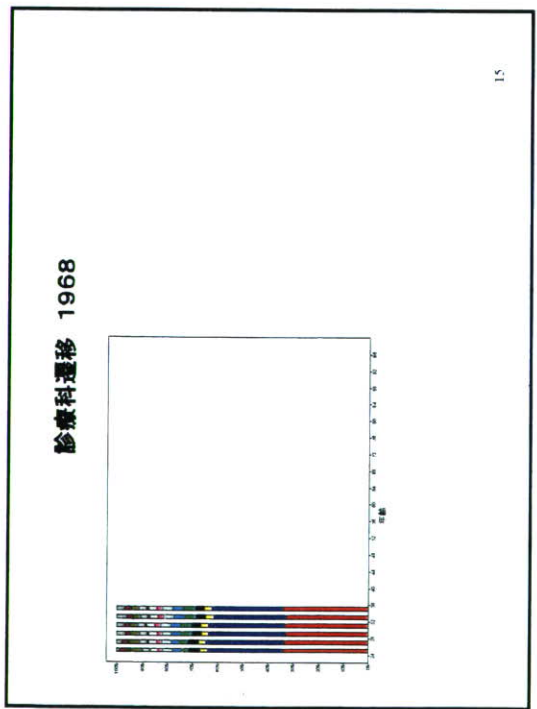
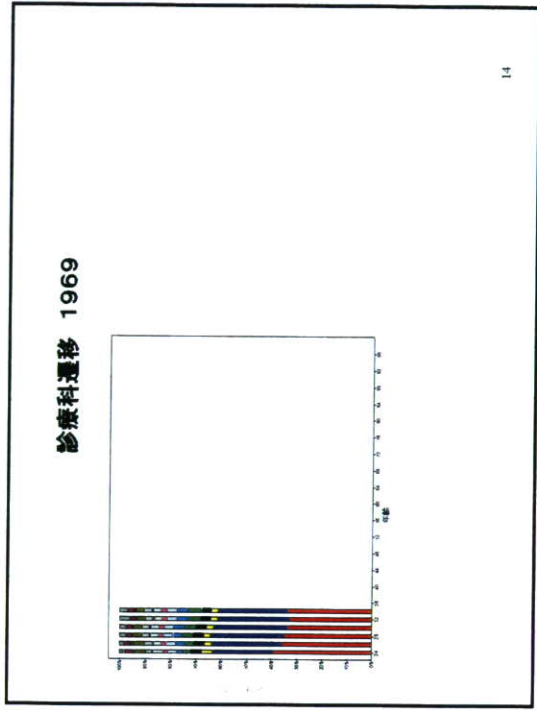
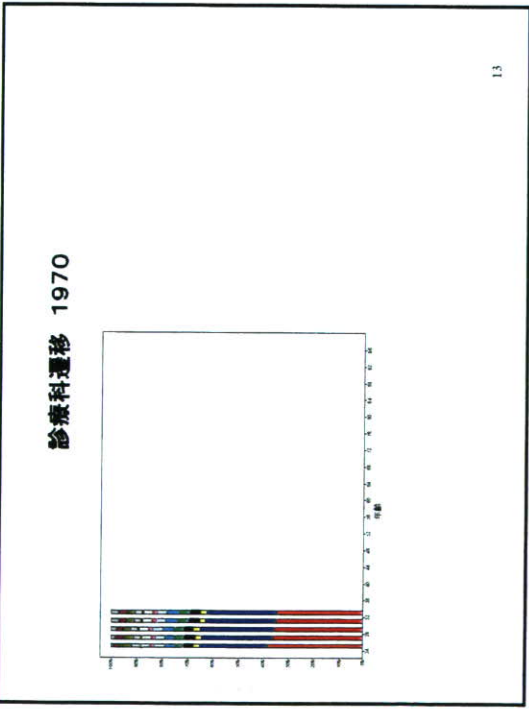
10

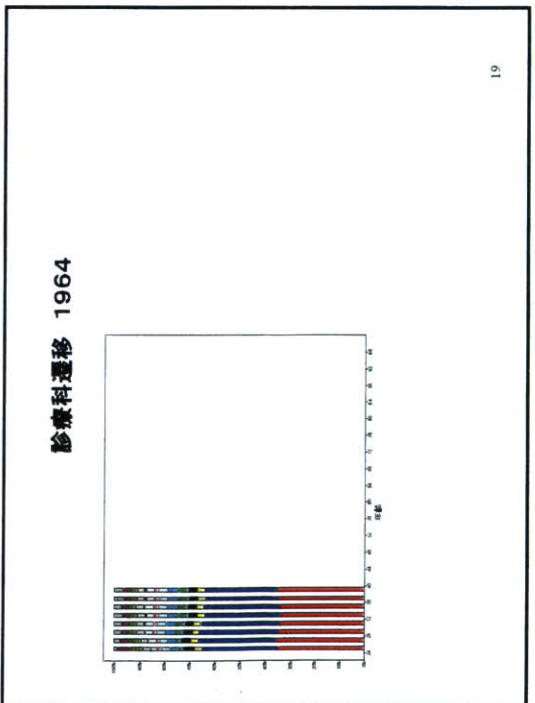
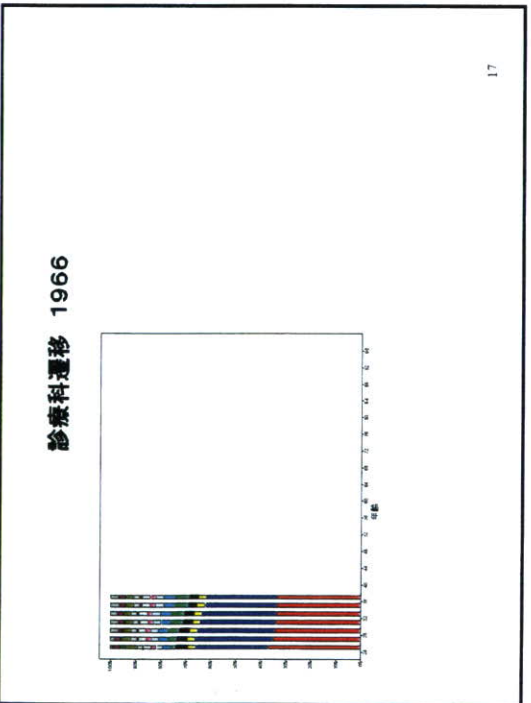
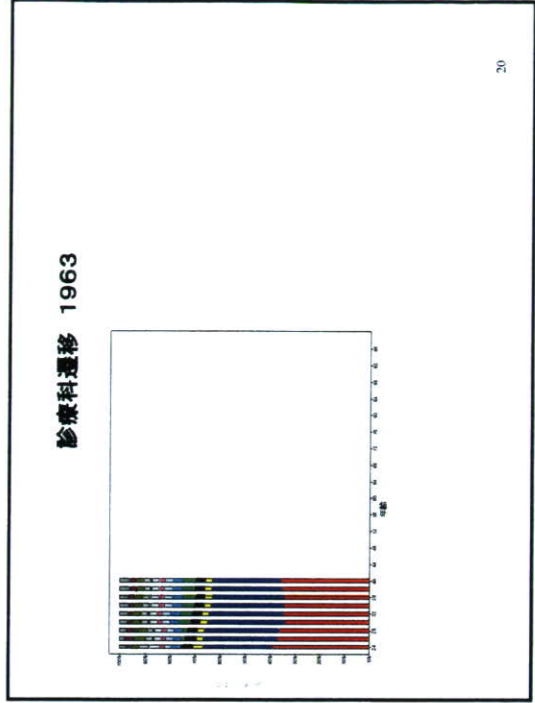
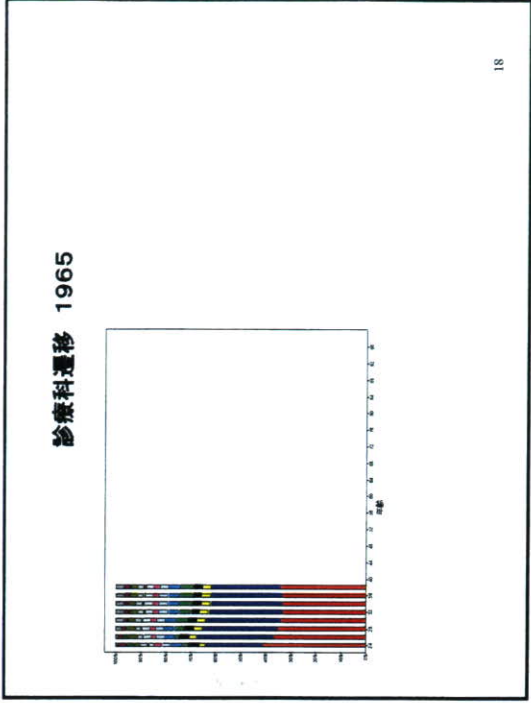


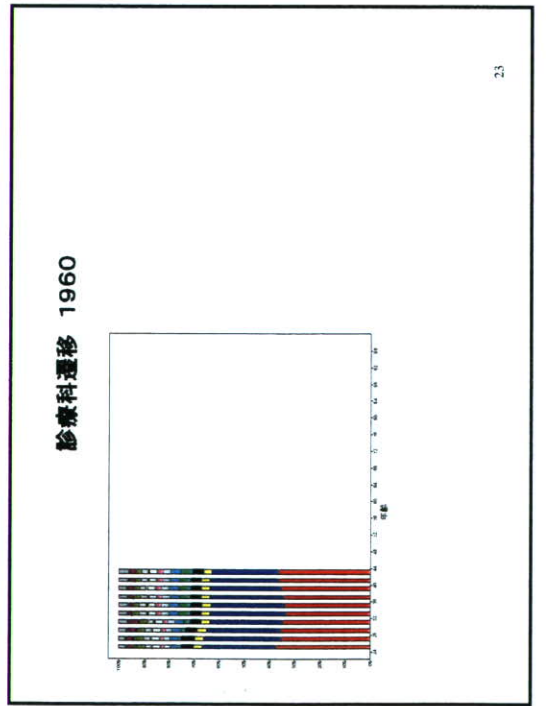
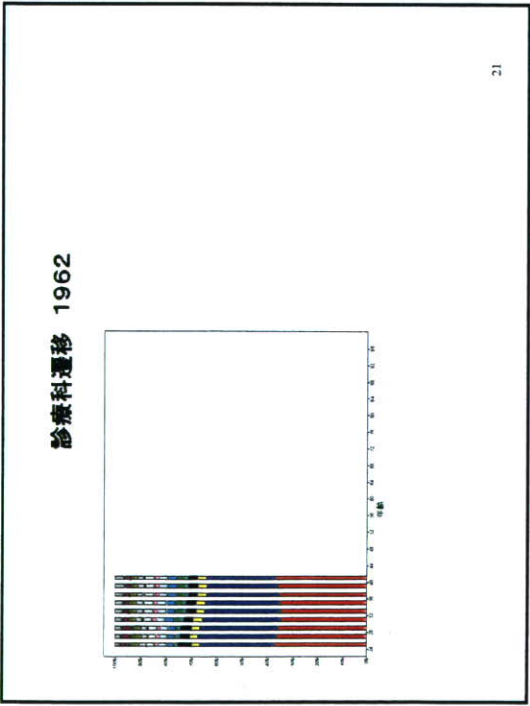
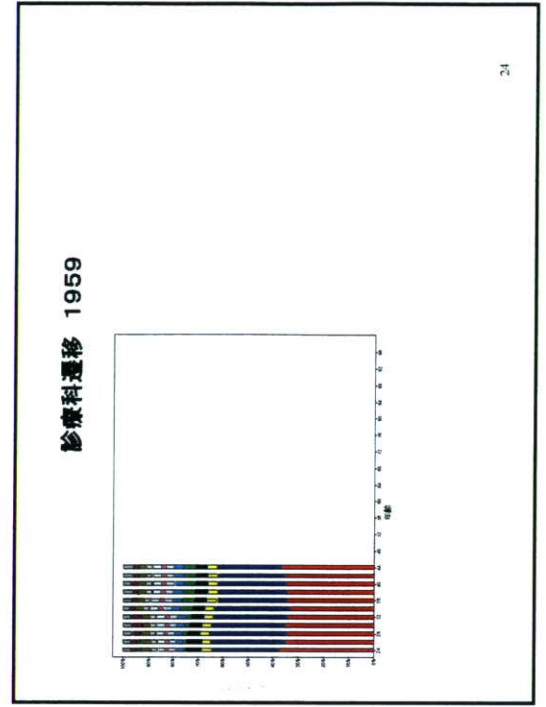
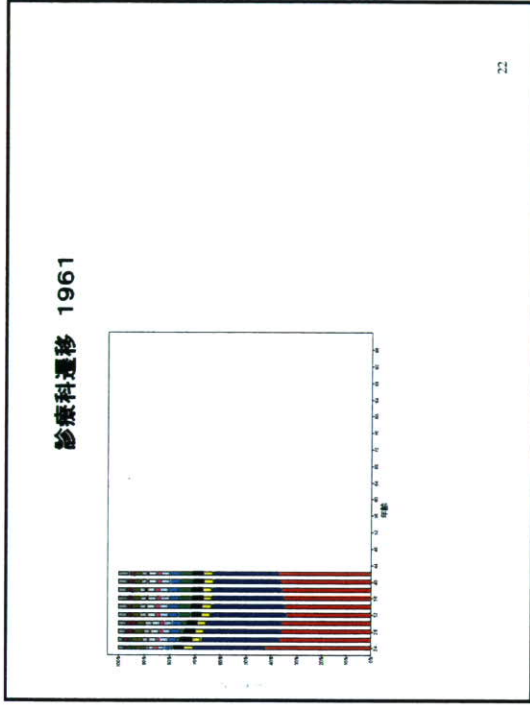
11



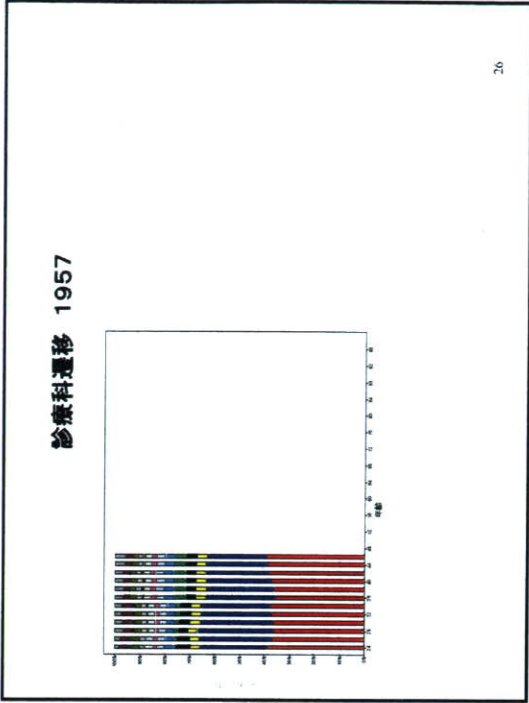
12



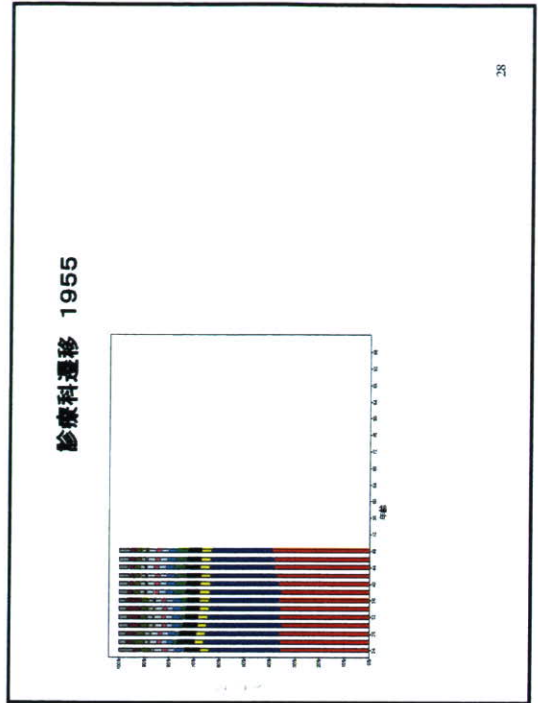




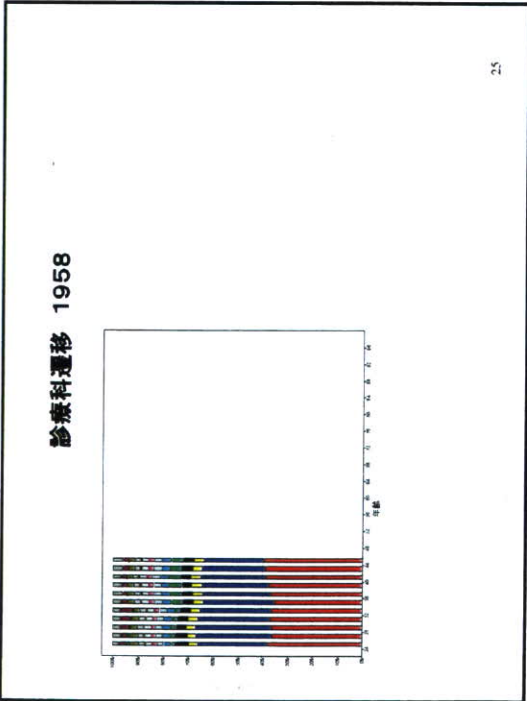




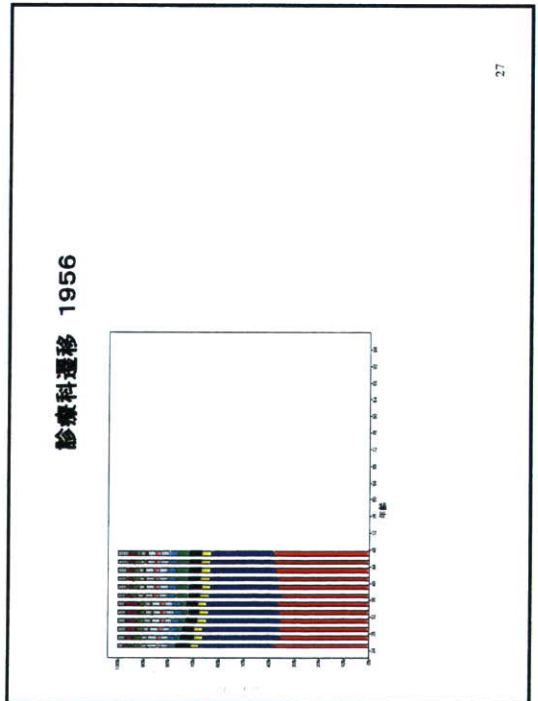
26



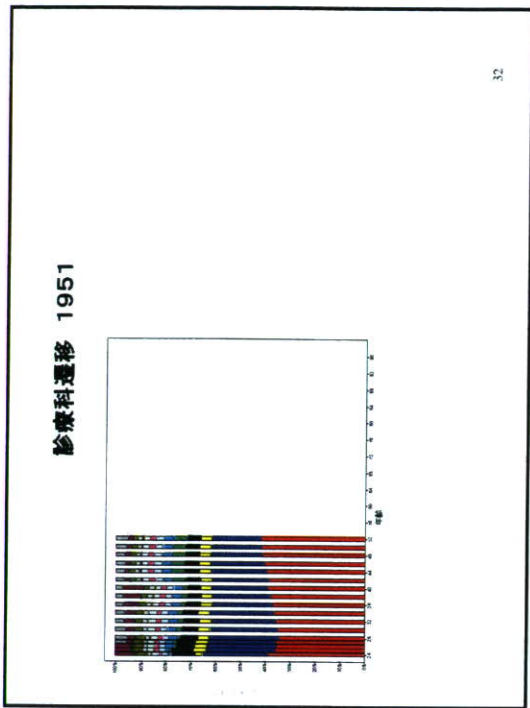
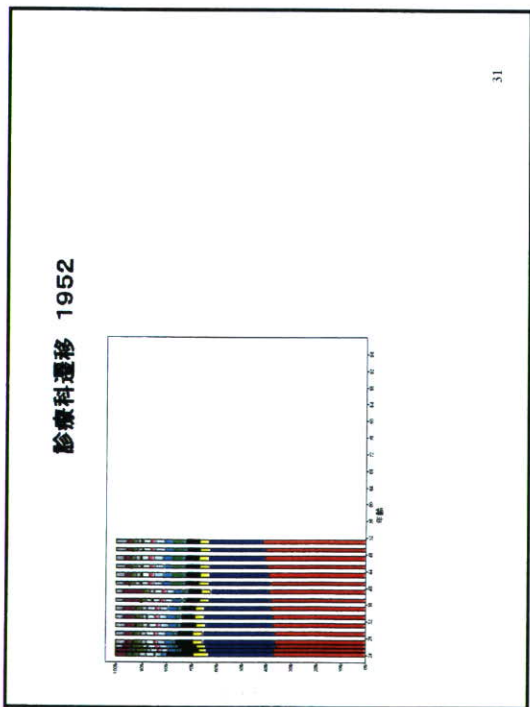
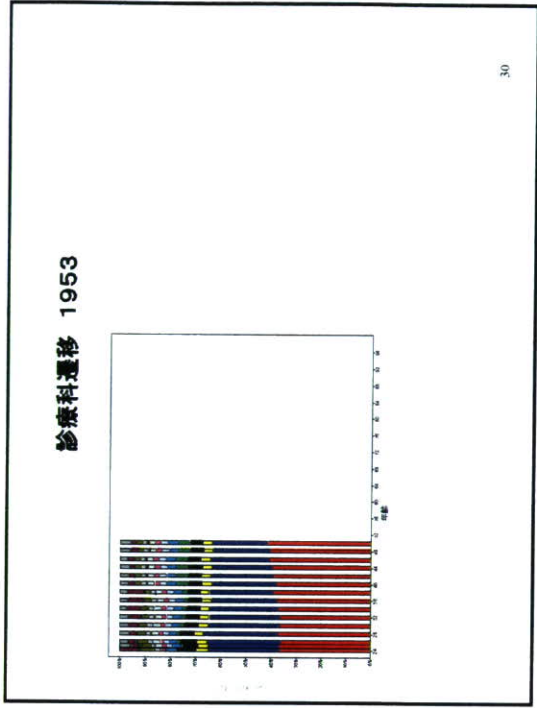
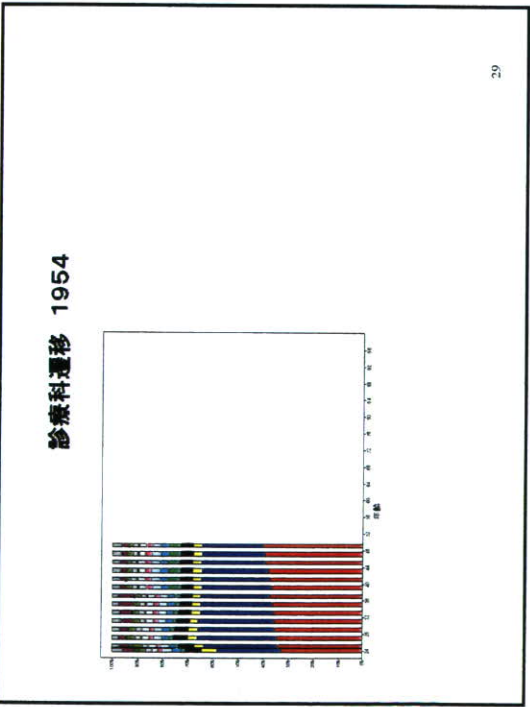
25

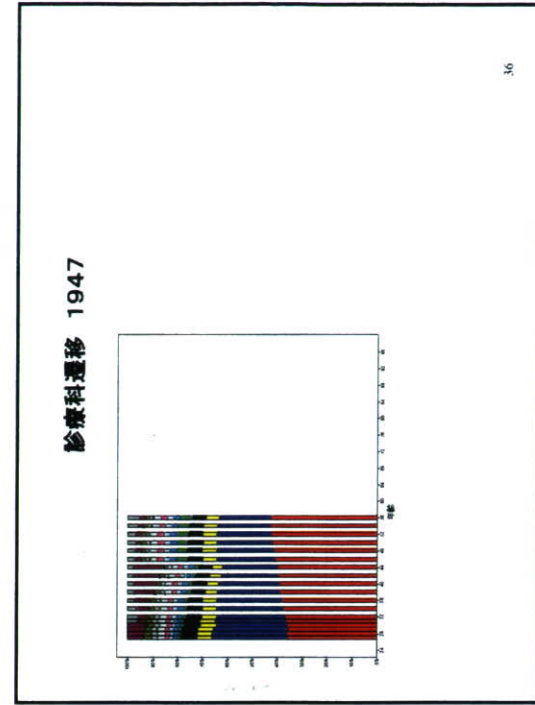
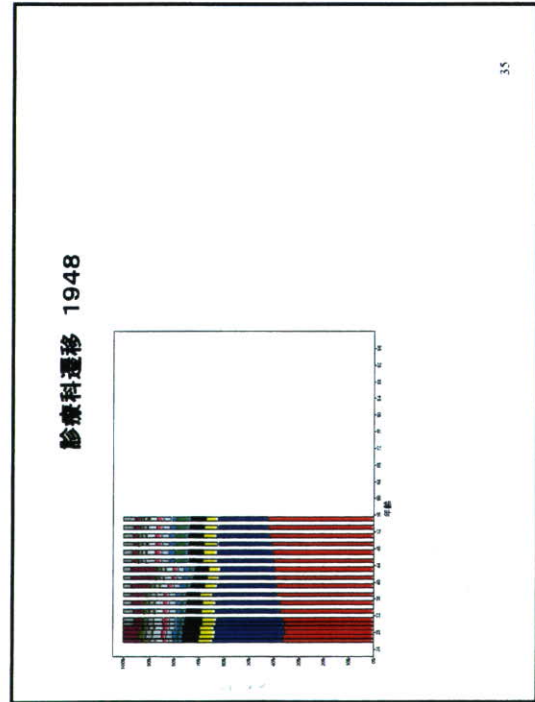
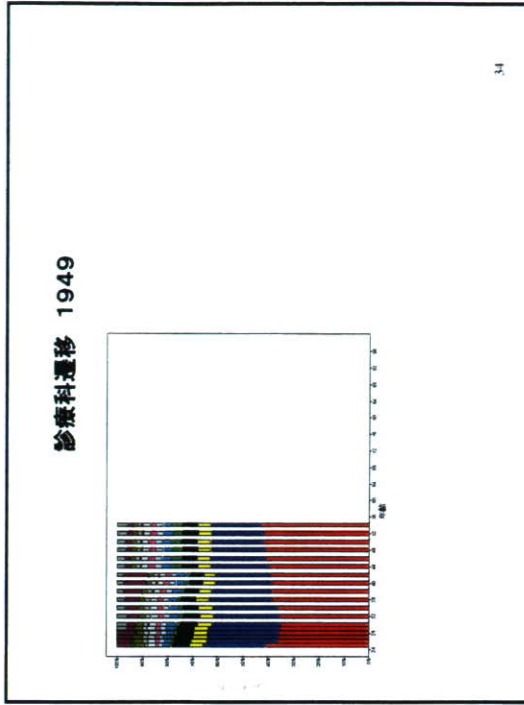
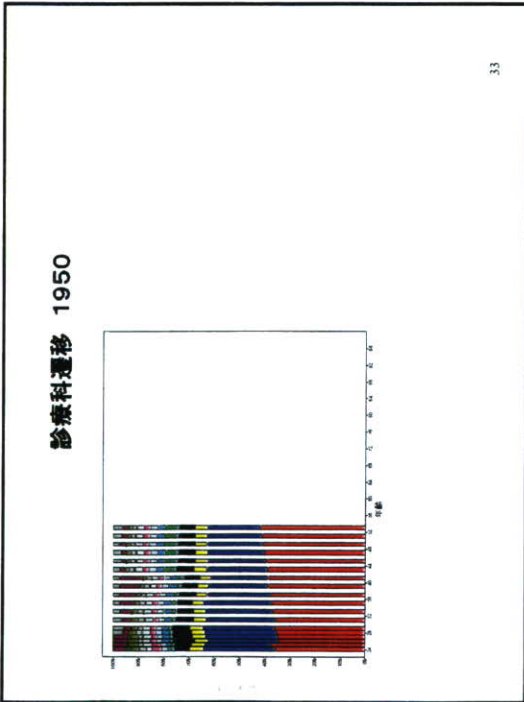


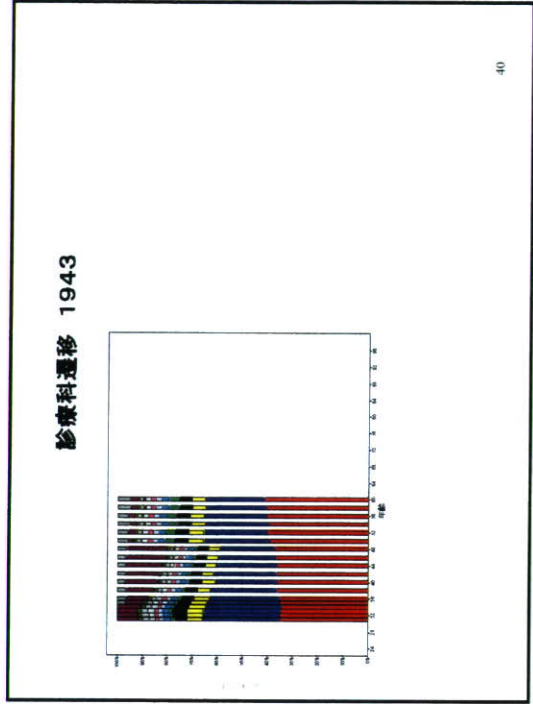
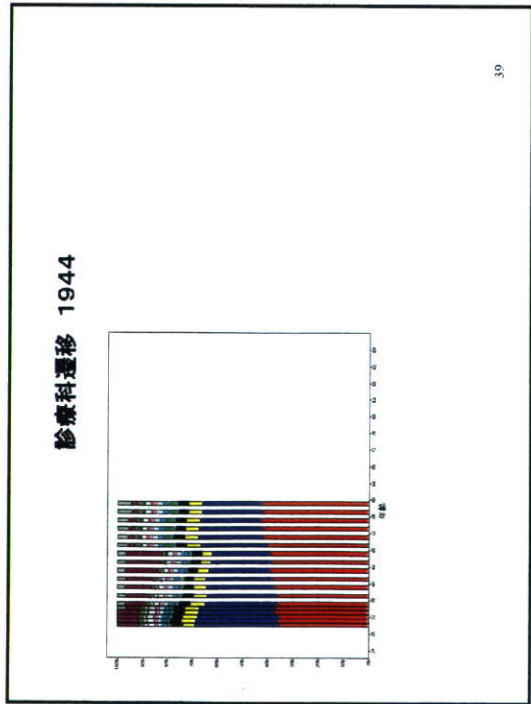
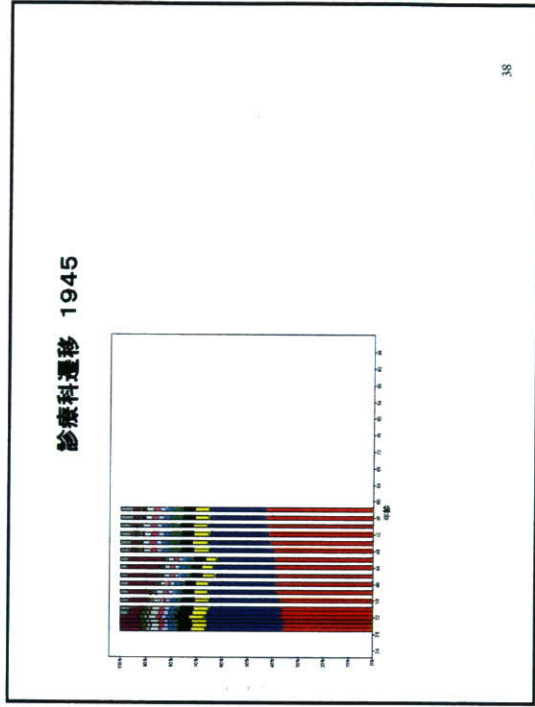
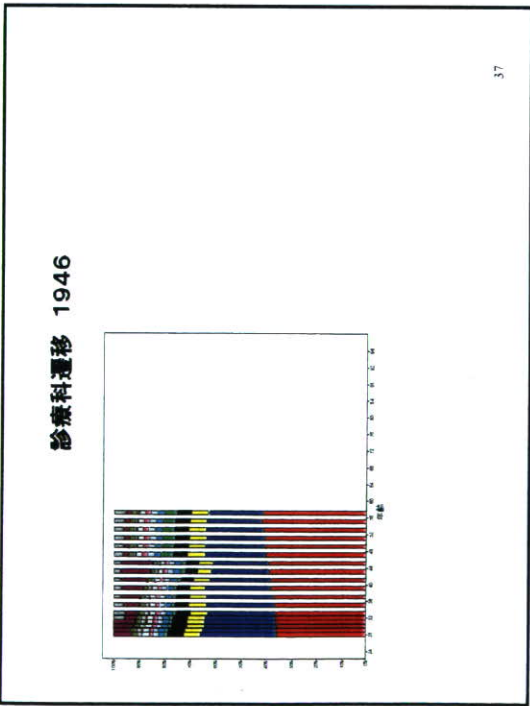
25

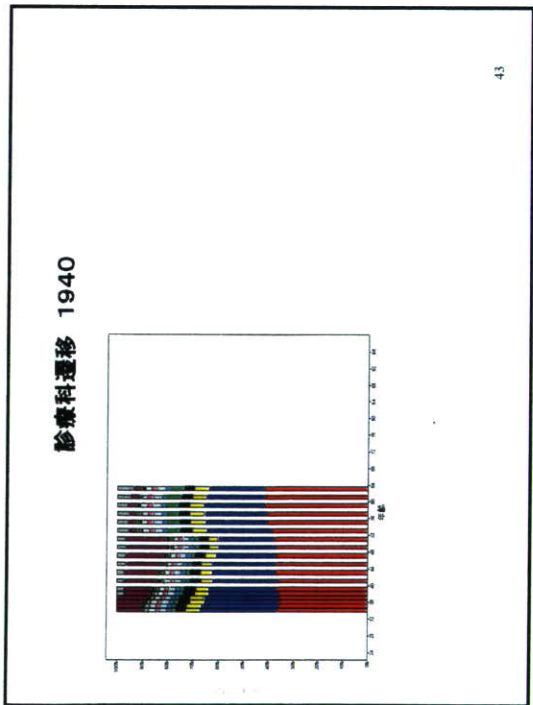
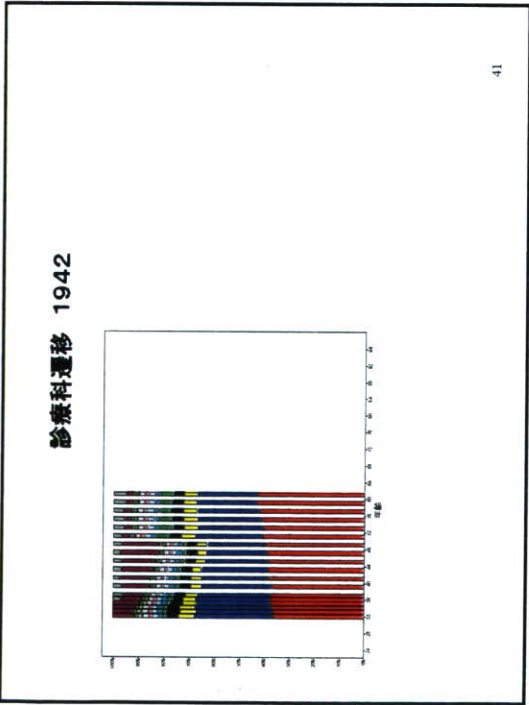
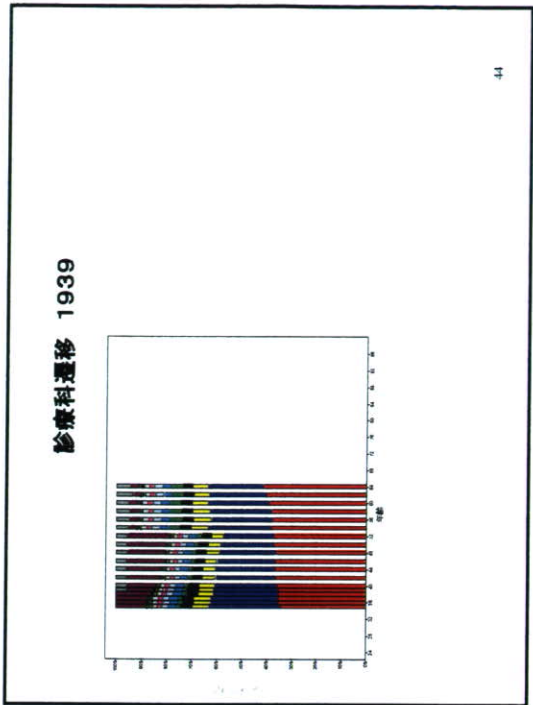
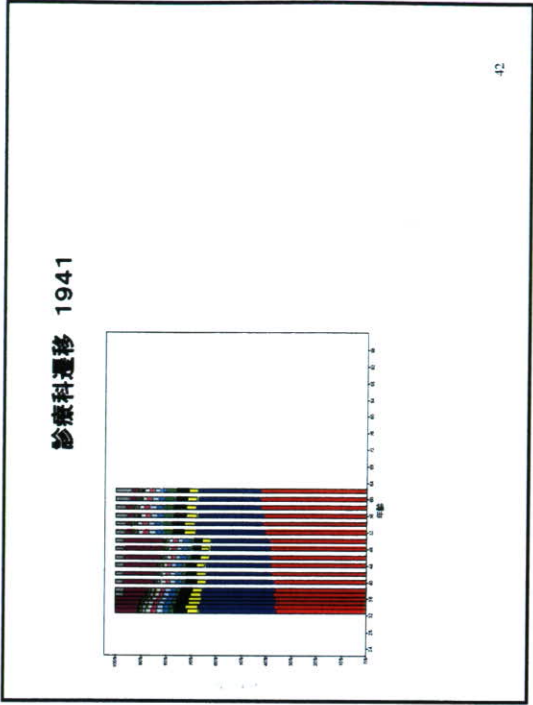


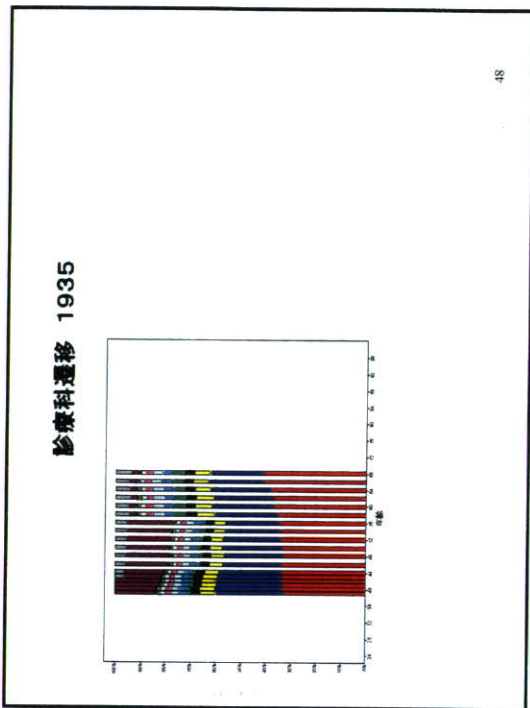
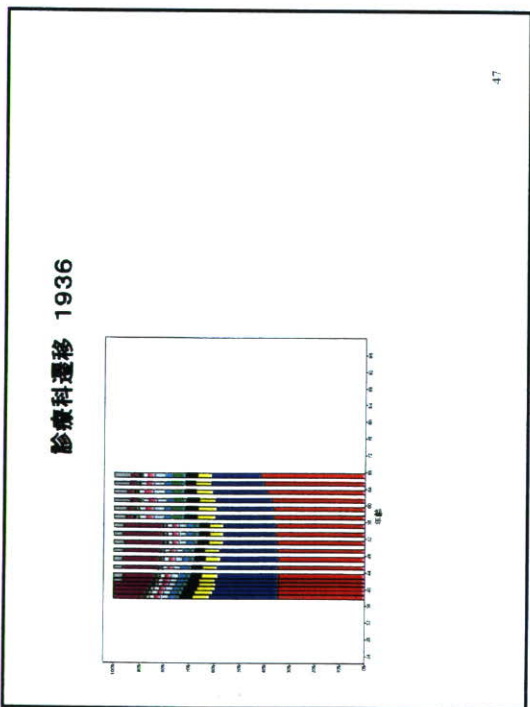
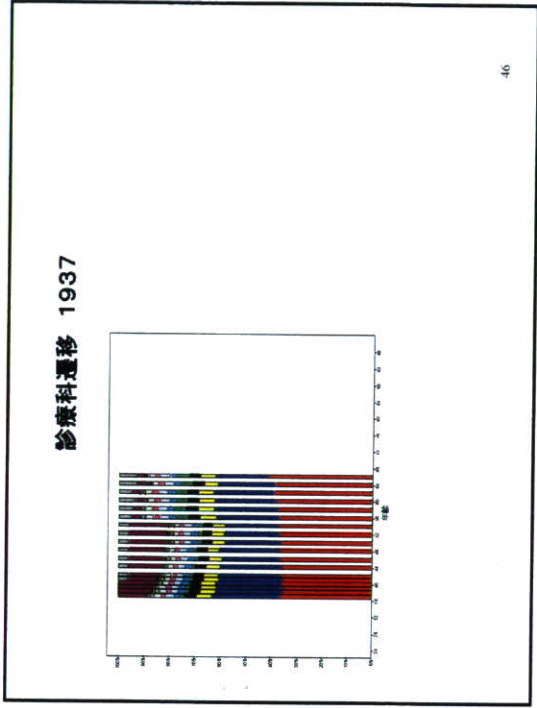
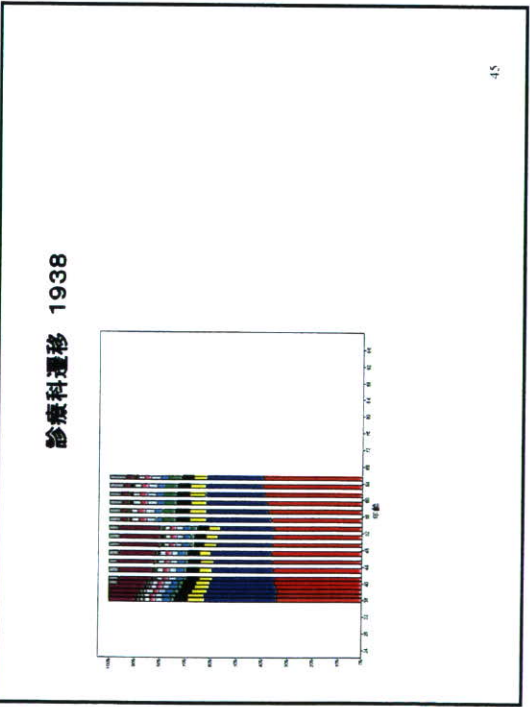
27

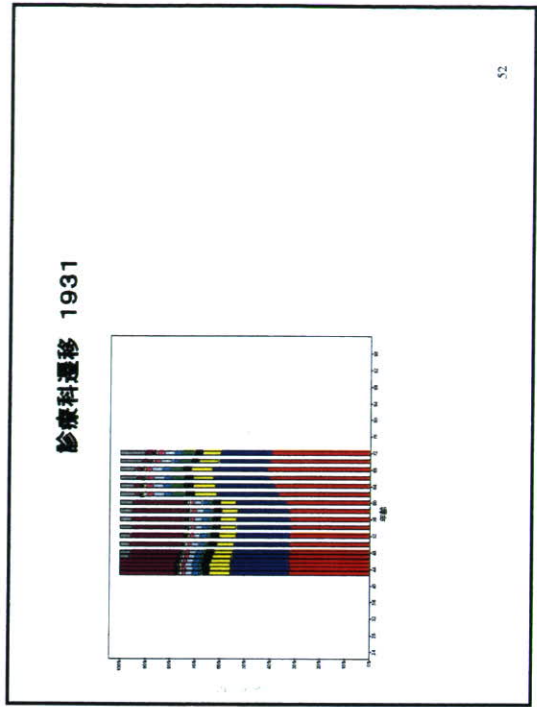
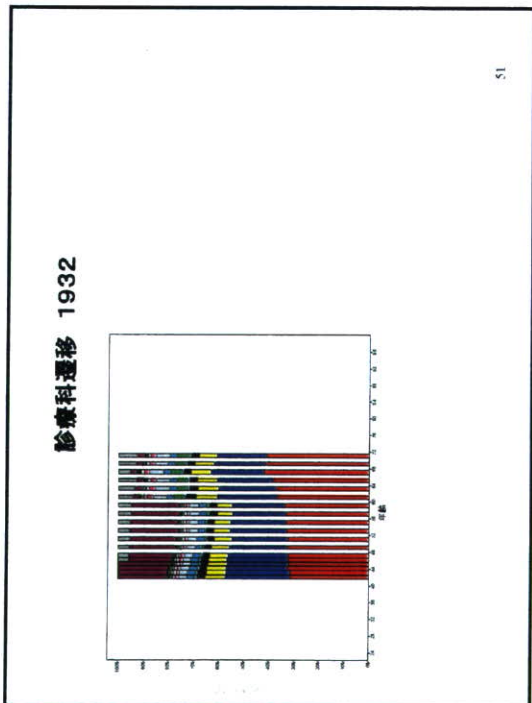
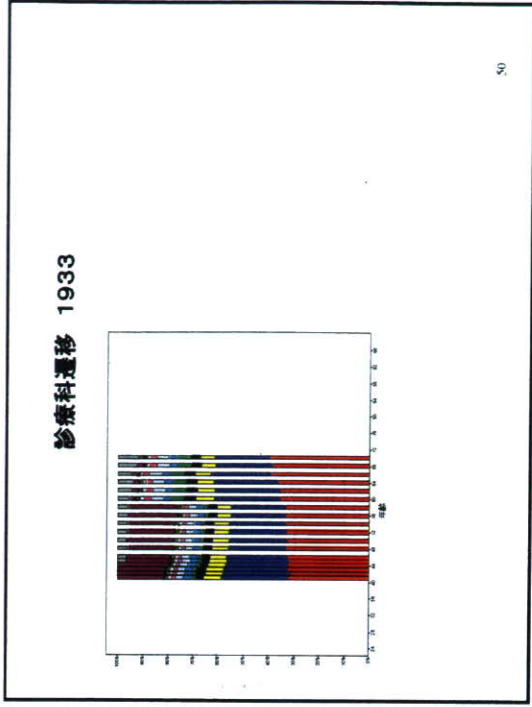
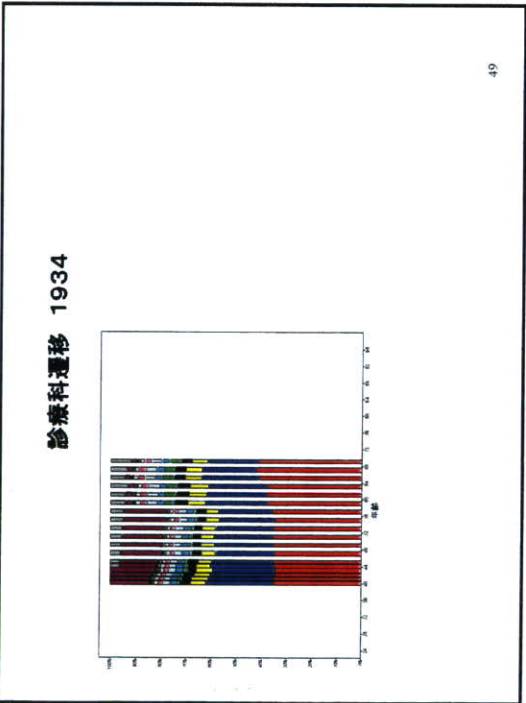




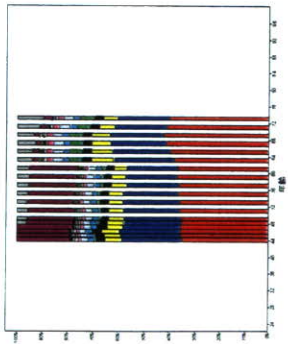








診療科遷移 1930



53



## 診療科選択

生年毎の選択状況の変化

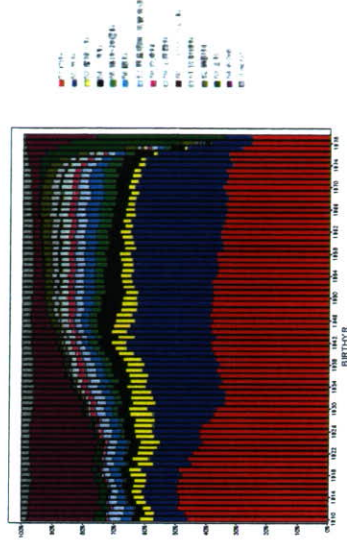
## 方法

- 1977年～2004年調査のデータのうち24歳から70歳までのデータについて生年毎に診療科を集計し、診療科の比率を算出した。
- 性別1は男性 2は女性である。

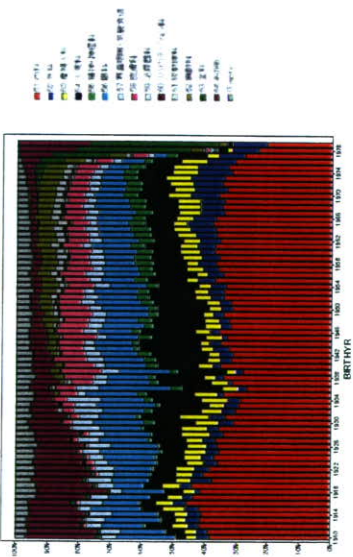
## 概要

- 診療科が確定するのは卒業4年目頃と推定される。
- 内科・外科・産婦人科・小児科の総計で見えた場合、
  - 男性の方がこの4科を選択する率が高い
  - 内科は、男性女性で率の差が少ない
  - 男性は、外科を選択する率が高い
  - 女性は、産婦人科・小児科を選択する率が高い
- このほかの診療科(例:皮膚科)においても男女で診療科選択傾向の差がみられる。

診療科率 男性・全業務種別



### 診療科率 女性・全業務種別



5

# 女性医師 診療科遷移

1979年から1930年生まれ

診療科変化

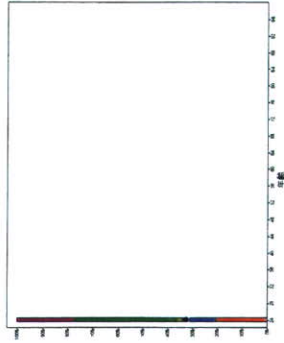
調査：1993-2004

不連続性は、1993年の統計コードの変更による

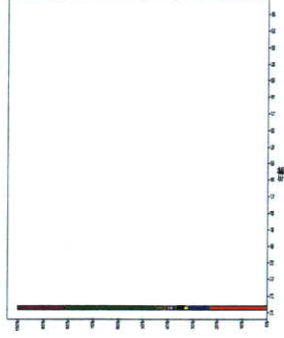
## 概要

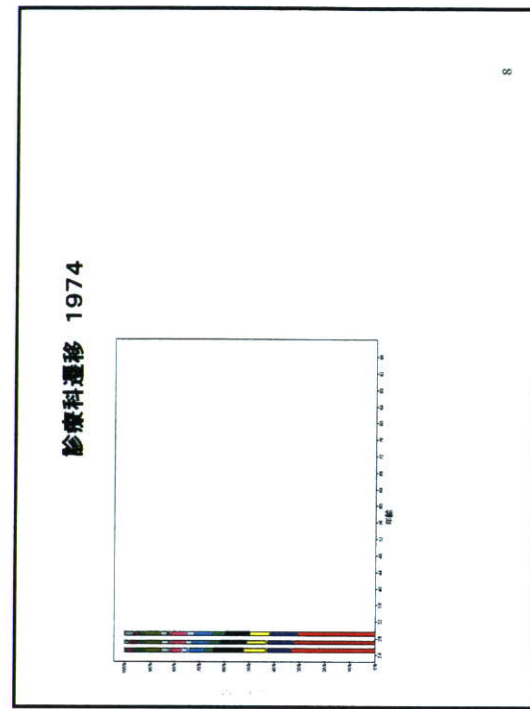
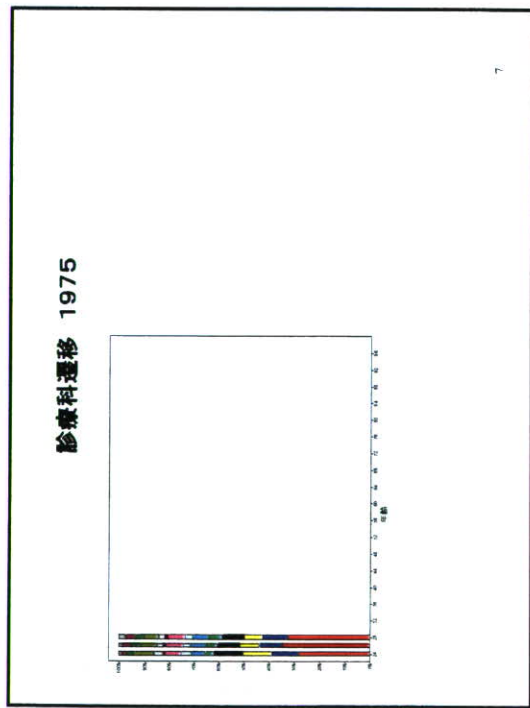
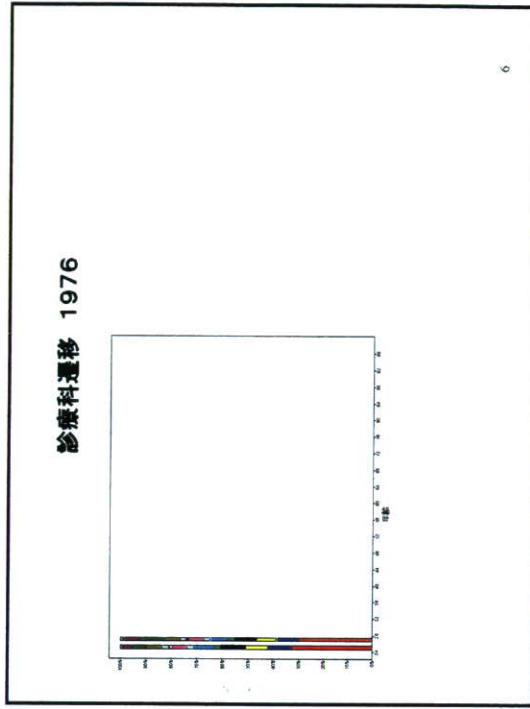
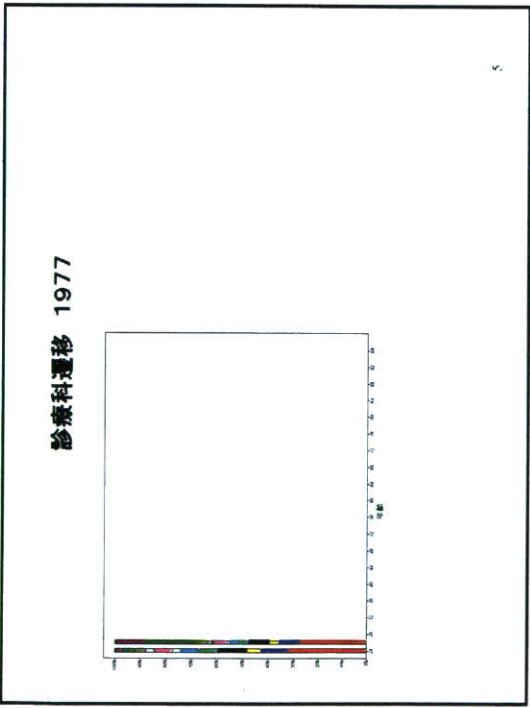
- 同一生年コホートで見たととき、診療科の構成比率は、年齢の進行に関わらず変化があるとはいえない。
- 臨床研修で選択した診療科は、年齢が進んでも70歳までの範囲では、診療科を変更する率は小さい。

### 診療科遷移 1979



### 診療科遷移 1978





58